

令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立持田小学校)

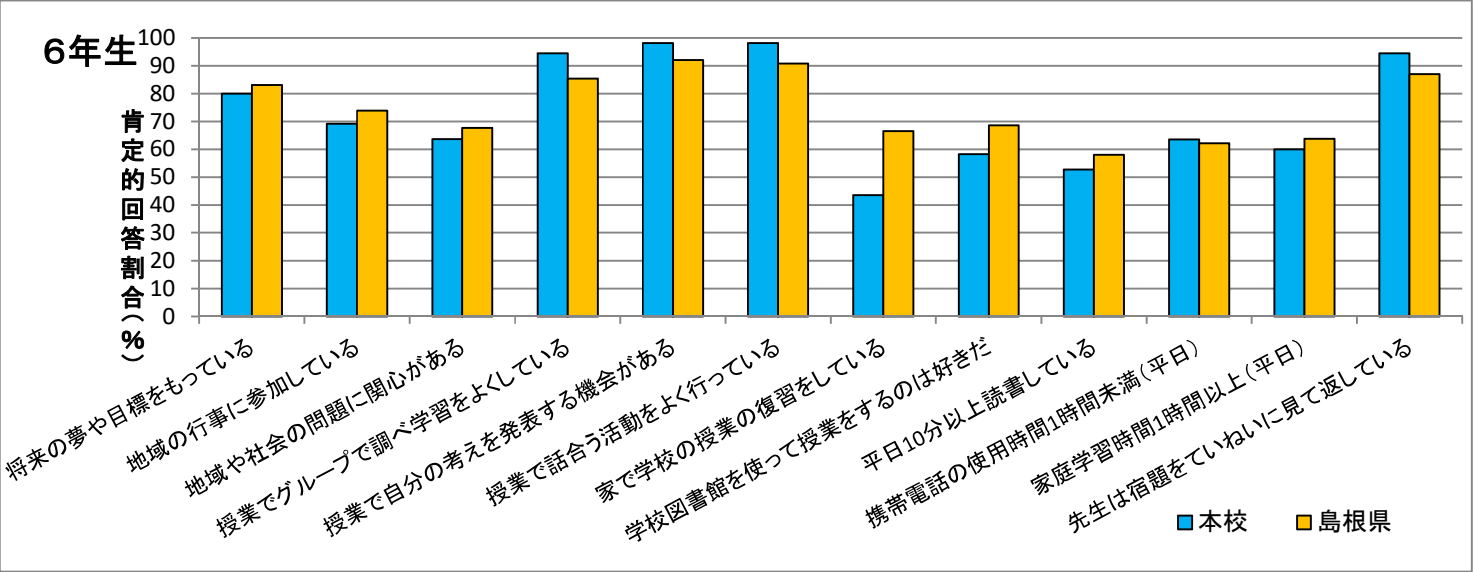
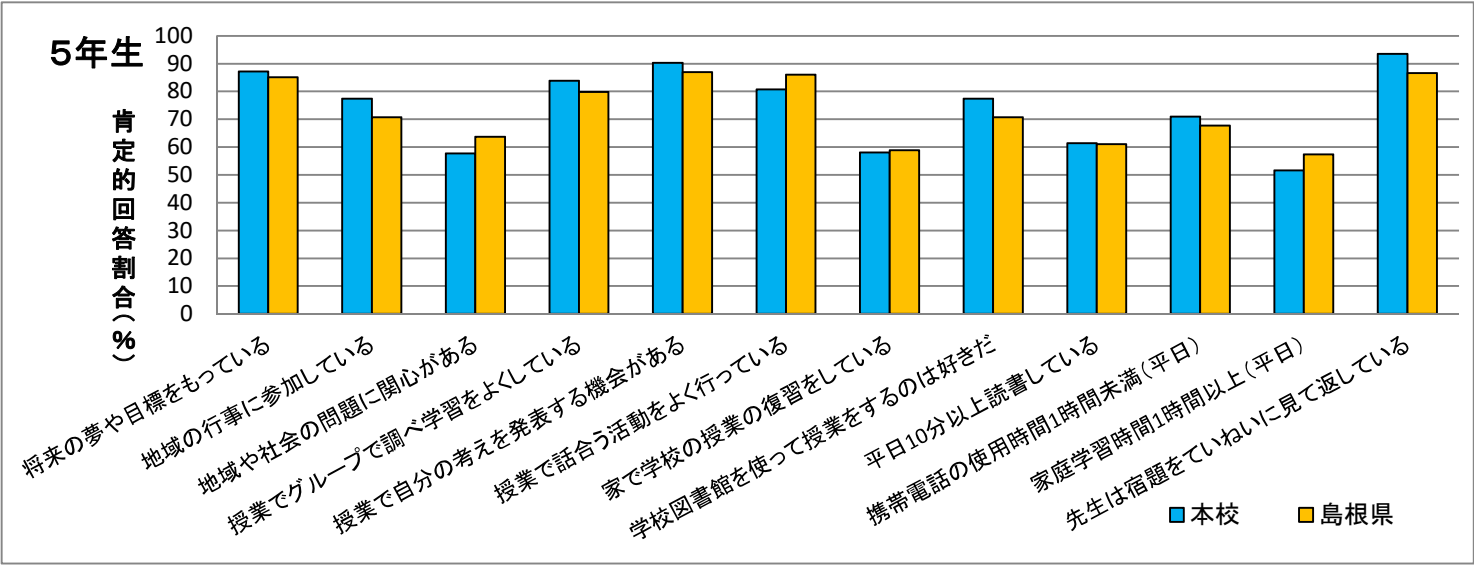
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○「目的に応じて書く」ことは、日頃から書く時間を設定して取り組んでいることが成果につながっていると考ええる。 ●答えを導くために、前後の文章を関連づけたり、比べたりする力が弱い。 ●ローマ字を書く力が弱い。	・読書の量や質を上げたり、新聞記事を読んで、要約する活動を取り入れたり、様々な文体に慣れ親しませたりする。 ・ローマ字を書いたり、読んだりする機会を日常生活の中で増やしていく。
	算数	○演算が1つで、単純な計算はできる。 ●演算が2つ以上ある計算や図形を立体的に捉えることが難しい。 ●問題文を読み解く力、考え方を文章で表す力が弱い。	・前学年までの学習を復習したり、平面図形と立体図形との関係、認識を練習したりする機会を設ける。 ・文章で解答を表したり、自分の考えを文章で書いたりするなど、国語と関連付けた学習を進めていく。
6年	国語	○漢字の読みは良い。 ●選択肢を読み取り、適切なものを選ぶことはできるが、記述式で全てを自分で考えることが苦手である。 ●ローマ字と漢字を書くことの定着が不十分である。	・全教科を通じて、自分の考えを持ち、文章に書く活動を継続して行う。 ・ローマ字のおさらいをする機会を、家庭学習などで意図的に設ける。
	算数	○図形では、具体物を使って学習をしたため、学習内容が定着していると考えられる。 ●1より小さい数をかけるともとの数より小さくなり、わると大きくなることが理解できていない。 ●計算の順序のきまりが理解できていない。	・小数をかけたり、わったりする意味や計算の仕方について、再度取り上げて学習をする。 ・具体的な場面や図を取り上げ、計算の順序のきまりについて復習する。

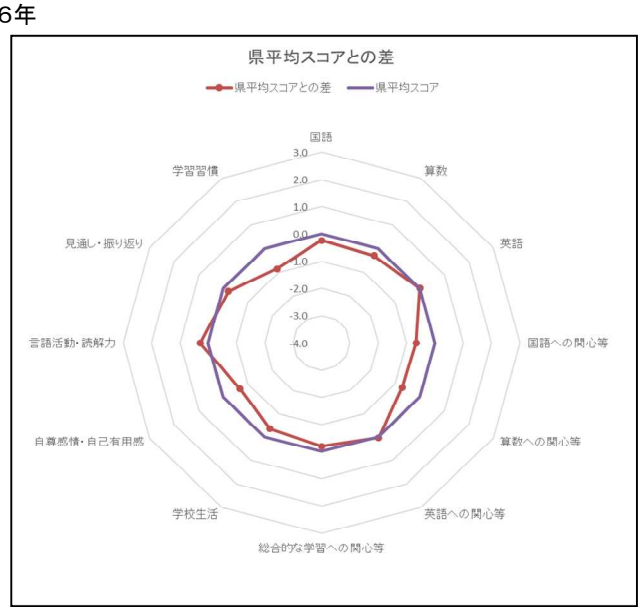
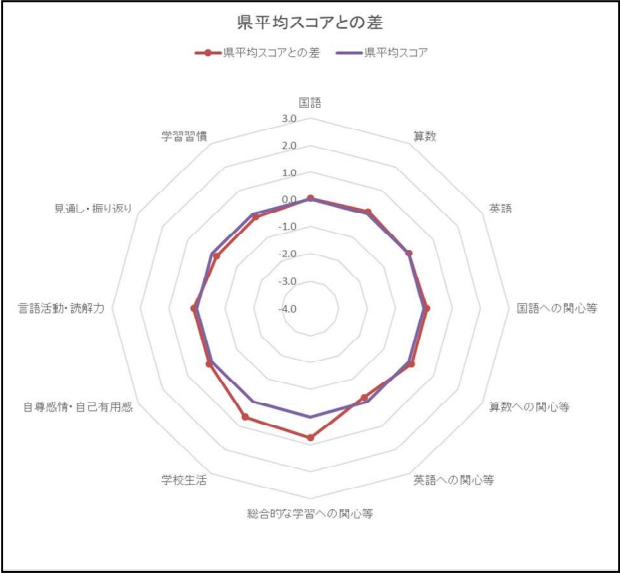
(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○学校では読みたい本が自分の手元にあったり、毎週学級ごとに図書館を利用する時間が設定してあったりすることで、読書の時間が確保されていると考えられる。 ●授業では、友だちとの間で話し合う活動がやや少ない。	●授業では、自分の考えを発表するだけでなく、友だちとの間で話し合い、自分の考えを深められるような活動をさらに取り入れていく必要がある。
	家庭学習に関わる事項	○携帯電話やスマートフォンの利用が少ない。 ●家庭での学習時間が、全体としてやや少ない。	●宿題については、担任が丁寧に見て返しているのので、継続して取り組ませることにより、学力向上につなげていきたい。
6年	授業改善に関わる事項	○学習形態、対話の重視、キャリア教育の視点を設けるなど、授業改善を進めており、考えを発表する機会を確保することができた。 ●学校図書館を活用した授業は行っているものの、子どもたちの意識の中にはあまり残っていない。	●図書館活用の授業を年間計画に位置付けたり、図書館ファイルを活用したりしながら、図書館を活用した学習を行っていることを、意図的に子どもたちに意識づけを図っていく。
	家庭学習に関わる事項	○提出した宿題を教師が丁寧に見て返しているのので、家庭学習の習慣化につながっている。 ●宿題が「させられている学習」になっているため、自らで確かな学びにするという意欲化に欠けている。	●授業で学習したことを確かなものにする、定着化を図るためにするために家庭学習をするという意識づけを図る。 ●ノートへのふり返し、分かったこと、今日の学習のポイント等を記入するように指導する。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果



(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	60	60
	松江市	61	60
	島根県	60	58

受検者数
5年生 31 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	46	52
	松江市	52	60
	島根県	51	59

受検者数
6年生 55 人